

# 1081. Fréchet 束 = 就テ (III)

小笠原 藤次郎(廣島大理大)

計量  $p(x)$  ノアルベクトル束ガ計量ノ適當ト変更ニヨリ  
Fréchet 束ニナル場合、(S), (A) 空間ハノルムノ導入ニ  
ヨツテ Banach 空間トシ得トイコト他ノ判定法、(A) 空  
間ヲ Bochner 束トシテノ特性ツケ等ニツイテ簡單トニ三  
ノ注意ヲ述ベル、ガ目的デアル。

## §11. $R_n$ 型空間ト Fréchet 束

0-完全ベクトル束 $\mathcal{E}$ ,  $\forall$  各要素  $x =$  對シ計量  $\rho(x)$  が定義サレ次ノ (1) - (4)ヲ満足スレトキ  $R_3$  型空間ト呼バレ $\nu$ 。(Kantorovitch, Recueil math. 44(1937), 121-165. 第8節)

$$(1) \rho(x) = 0, x = 0 \text{ノトキ} = \text{凡ソ} \rho(x) = 0$$

$$(2) |x| \leq |y| \text{ノトキ} \rho(x) \leq \rho(y)$$

$$(3) x_n \uparrow x \text{ノトキ} \rho(x_n) \rightarrow \rho(x)$$

$$(4) 0 \leq x_1 \leq x_2 \leq \dots, \lim_n \lim_p \rho(x_{n+p} - x_n) = 0 \text{ノトキ} \{x_n\} \text{ハ} (0)\text{-有界}$$

補題1.  $R_3$  型空間 $\mathcal{E}$ ハ  $K_6$  型"正則"ベクトル束デア $\nu$   $\bar{\nu}$ ,  $x_n \rightarrow 0(0)$ ト  $\lim_{m, n \rightarrow +\infty} \rho(|x_n| \cup |x_{n+1}| \cup \dots \cup |x_m|) = 0$ トハ同義デア $\nu$ 。

(証) §1 ア述ベタ条件 (1°), (2°) (p. 1337)ノ成立ト  $x_n \rightarrow 0(0)$   $\lim_{m, n} \rho(|x_n| \cup \dots \cup |x_m|) = 0$ トノ同義ヲ云ハ $\nu$ ヨイ。後者ハ Kantorovitch.

前掲 149頁定理33ノ証明カラ云ヘ $\nu$ 。(1°)ハ彼ノ所論 149頁定理34ノ証明法カラ (2°)ハ §1, 定理1 (p. 1338)ノ証明ト同論法ヲ使ヘ $\nu$ ヨイ。

補題2.  $R_3$  型空間 $\mathcal{E}$ カ  $K_6$  型"正則"ニナル条件 $\mathcal{E}$ , 常ニ次ノ (5)ヲ満足スレコトデア $\nu$ 。

$$(5) 0 \leq x_1 \leq x_2 \leq \dots, \lim_{\lambda \rightarrow 0} \lim_n \rho(\lambda x_n) = 0 \text{ノトキ} \forall x_n \text{ガ存在スル。}$$

(証)  $\lambda_p \downarrow 0$ ト $\nu$ 任意ノ正数列ニ對シ  $\lambda_p x_p \rightarrow 0(0)$ ト  $\lim_{\lambda \rightarrow 0} \lim_n \rho(\lambda x_n) = 0$ ノ同義ヲ云ヘ $\nu$ 充分デア $\nu$ 。(5)

假定が成立スルトスル。  $\lambda_p \downarrow 0$  十正数列 = 對シ、  $i_1 < i_2 < \dots$   
 -----  $\forall p(\lambda_{i_n} x_m) < \frac{1}{2^n}$ ,  $m = 1, 2, 3, \dots$  が成立スル程  
 = トルト、  $p(\lambda_{i_n} x_{i_{n+1}} \cup \dots \cup \lambda_{i_{n+p}} x_{i_{n+p+1}}) < \frac{1}{2^n}$  ト  
 十カテ、 前補題 =  $\exists \lambda_{i_n} x_{i_{n+1}} \rightarrow 0(0)$ ,  $\lambda_{i_n} \geq \lambda_p > \lambda_{i_{n+1}}$   
 トスレバ、  $\lambda_{i_n} x_{i_n} \geq \lambda_p x_p$  十  $\lambda_p x_p \rightarrow 0$  ( $p \rightarrow +\infty$ )  
 逆 =,  $\lambda_p \downarrow 0$  十任意ノ正数列 = 對シ、  $\lambda_p x_p \rightarrow 0(0)$  が成  
 立ツトシ、  $\lim_{\lambda \rightarrow 0} \lim_n p(\lambda x_n) > \varepsilon > 0$  トスレバ、  $n_1 < n_2 < \dots$   
 -----  $\forall p(\lambda_{n_p} x_{n_p}) > \varepsilon$  十ルヤ  $\rightarrow$  = トルコトが出来ル。  
 $n_p \leq n < n_{p+1}$  = 對シ  $\lambda'_n = \lambda_p$  ト置クト  $\lambda'_n \downarrow 0$  然ル =  
 $\lambda'_n x_n \rightarrow 0(0)$  十成立シテイ。 故 = 矛盾が起ル。

補題3. (1) - (3)  $\forall$  満足スルベクトル束が更ニ次ノ條件  
 (6)  $\forall$  満足スルトキハ  $R_3$  型空間デ且 "正則" 性ノ improper  
 axiom  $\forall$  満足スル。

(6)  $0 \leq x_1 \leq x_2 \leq \dots$ ,  $\lim_n p(x_n) < +\infty$ , トキ  $\forall x_n$   
 が存在スル。

(証) (6) カ  $\sigma$ -完全ベクトル束トスルコト、 及ビ (5) 十成立が  
 判ル。 補題ノ最後ノ部分ハ殆ド自明。

補題4.  $R_3$  型空間ガ  $\rho = \exists$  十位相ヲ変更スルコト十  
 十 =, 計量ノ変更 =  $\exists$  ヲテ Fréchet 束 = 十ル條件ノ次ノ (7)  
 デアル。

(7)  $p(x_n) \rightarrow 0$ , トキ  $p(|x| \cup |x_n|) \rightarrow p(x)$  トスル。  
 尚コノトキ Fréchet 束ハ  $K_6$  型 "正則" = 十ル。

(証)  $X$   $\forall R_3$  型空間トシ、  $\rho \forall \rho' =$  変更  $\cup$   $\forall$  Fréchet  
 束 = 十ツテトスル。  $p(x_n) \rightarrow 0$  トスレバ  $\rho'(x_n) \rightarrow 0$  十ル

$\{x_n\}$  の  $0$  = 相對一致 (\*)-收斂スル。従ッテ  $|x| \vee |x_n|$   
 $\rightarrow |x|$  (\*)トナルカラ (7) が成立スル。逆 = (7)ヲ満足スル  
 $R_3$  型空間ハ計量ノ変更 = ヨッテ Fréchet 系 = ナル (案ハ  
 $K_6$  型 Fréchet 系) コトハ Kantorovitch, 前掲 § 8  
 = 論ゼラレテキル。

(7)ヲ満足スル  $R_3$  型空間ヲ  $R_4$  型空間トイフ。  $R_4$  型  
 空間ハ計量ノ変更 = ヨリ  $K_6$  型 "正則" Fréchet 系 = ナル。コ  
 レガ  $K_6$  型 "正則" = ナル條件ハ (5) デアル。

Kantorovitch ハ前掲所論ノ中テ (p. 153 定理 39)

$$(8) \quad h p(x) \leq p(2x) \leq H p(x) \quad 1 < h \leq H$$

ヲ満足スル  $R_4$  型空間 = 於テ (\*)-有界ト計量  $p$  = ヨル有界ト  
 ノ同族ヲ述ベテキル。(8)ヲ満足スル計量ヲ  $\in \mathcal{Y}$   $R_4$  型空間  
 (彼ハ  $R_5$  型空間トイフ) = 對シ次ノ補題が成立スル。

補題 5. (8)ヲ満足スル計量  $p \in \mathcal{Y}$   $R_4$  型空間カ  $K_6$  型  
 "正則"ノトキ, "正則"性, improper axiom ヲ満足  
 スル。

(証) (6), 成立ヲ証明スルニヨイ,  $0 \leq x_1 \leq x_2 \leq \dots$   
 ヲ (0)-有界デナイトスルト,  $\lim_{\lambda \rightarrow 0} \lim_n p(\lambda x_n) > \varepsilon > 0$   
 ナル  $\varepsilon$  が存在スル。  $\lambda = \frac{1}{2^n}$  = 對シ  $p(\frac{1}{2^n} x_p) > \varepsilon$  ナル  $x_p$  が  
 存在スル。  $p(x_p) > h^n \varepsilon$  トナルカラ,  $\lim_n p(x_n) = +\infty$   
 トナル。

(5) 空間 (6) 空間ハ  $K_6$  型 "正則" デアルガ, "正則" 性  
 improper axiom ヲ満足シナシ。  $(0, 1)$  上ノ, 絶対値  
 $\frac{1}{2}$  乘ガ可積分ノ函数  $x(t)$  ハ,  $p(x) = \left[ \int_0^1 |x(t)|^{\frac{1}{2}} dt \right]^2$  ト置

フトキ  $\rho(2x) = 2\rho(x)$  トナル。コノ  $R_+$  型空間ハ, "正則性"  
 / *improper axiom* ヲ満足スルガ, ノルムヲ導入シテ  
 Banach 空間トハナシ得ナイ例デアイル。彼ニヨリ示サレ  
 タヌウ =  $L_T$  空間 (p. 156 参照)  $\in R_+$  型空間デアイル。  $L_T$  空間  
 トハ,  $T(u)$  ヲ  $u \geq 0$  = 対シテ定義サレタ実函数デ

1.  $T(u) \geq 0$ ,  $u=0$  ノトキ = 限リ  $T(0) = 0$ .
2.  $T(u)$  ハ連続ナ増加函数,  $(u_1 < u_2)$  ノトキ  $T(u_1) < T(u_2)$
3.  $T(2u) \leq K T(u)$ .

ヲ満足スルトスル。抽象集合  $A$ , 部分集合, Borel 族上ニ  
 定義サレタ完全加法的測度函数  $m(E)$  ( $m(A) < +\infty$ ) =  
 閉シ可測函数 (殆ド到ルニ有有限値ヲトル) ノ中  $\int_A T(|g(t)|) dm$   
 $< +\infty$  ナル  $g(t)$  全体, 作ルベクトル束ニ於テ,  $\rho_T(g) =$   
 $\int_A T(|g(t)|) dm$  トシタモ, デアル。  $T(+\infty) = \lim_{u \rightarrow +\infty} T(u)$   
 ガ有限ノトキハ,  $L_T$  ハ  $A$  上ノ (S) 空間ト同義ニナルカラ  $K_6$   
 型 "正則" デアルガ, "正則" 性 / *improper axiom* ヲ  
 満足シナイ。  $T(+\infty) = +\infty$  ノトキハ  $L_T$  ハ "正則" 性,  
*improper axiom* ヲ満足スル。 何レニシテモ  $\rho_T$  ノツケカヘ  
 デ  $K_6$  型 "正則" Fréchet 束ニナル。

以上ハ Kantorovitch, 前掲, §8, §10, 所論ヲ形ヲ  
 カヘテ述ビタニ通ヤナイ。

## §12. $L_T$ 空間概念, 擴張

$X$  ヲ單位  $E$  上  $\in \mathcal{Y}$   $K_6^-$  型 "正則" Fréchet 束トシ,  $\forall$

計量函数  $\rho(x)$  トスル。  $e$  ヲ恒等的  $= 1$  ニスル様  $= X$  ヲ表現  
 空間  $\Omega$  上ノ連続函数族ヲ表現スル。  $\Omega$  上ノ非稠  
 密集合ヲ除イテ有限値ヲトル連続函数  $g(\xi) = \text{対シ}$ ,  $\xi \in \Omega$  デ  
 述ベク  $T(u) = \text{對シ}$   $T(|g(\xi)|)$  ガ  $X$  ノアル要素ノ表現函数  
 $=$  トルトキ, コノ要素ヲ  $T(|g|)$  デ表ハス。  $T(|g|) \in X$  ナル  
 $g$  ノ全体ヲ  $X_T$  トスレバ

補題 1.  $X_T$  ハ完全ベクトル束  $=$  シテ § 11.1 (1), (2), (3),  
 (4) ヲ満足スル。

(証)  $T(|g_1(\xi)| \cup |g_2(\xi)|) \subseteq T(|g_1(\xi)|) \cup T(|g_2(\xi)|)$ ,  
 $T(|2g(\xi)|) \subseteq KT(|g(\xi)|)$  カラ  $X_T$  ハ完全ベクトル束ヲ作り  
 $\rho_T(g) = \rho(T(|g|))$  ト定ムルトキ  $\rho_T(|g| \cup |g'|) \subseteq \rho_T(g) +$   
 $\rho_T(g')$  コレカラ (1), (2), (3), (4) ノ成立ガ直チニ判ル。

(4) ノ成立ノ充分条件ハ色々ノ形ヲ與ヘラレルガ, コレ  
 ズケヲ論ズルユトハ *trivial* ナ議論  $=$  ナルカラ省略スル。  
 $X$  ガ Kantorovitch 空間, Bochner 束或ハ之ヲ一般ニ  
 シタ条件 (N) ヲ満足スルベクトル束  $\mathcal{E}$  ハ  $0 \subseteq \mathcal{E}_1 \subseteq \mathcal{E}_2 \subseteq \dots$   
 $\{\mathcal{E}_n\}$  ガ有界  $\mathcal{E}$  ナイトキ  $\|\mathcal{E}_n\|_p \rightarrow +\infty$  ナル  $\|\mathcal{E}\|_p$  ガアルカ  
 ラ, コノトキ  $X_T$  ハ  $K_6$  型 "正則" ベクトル束  $\mathcal{E}$  (4), (5) ハ常  
 $=$  満足サレル。 Kantorovitch ガ論ジタノハ  $X$  ガ  $L$  空間  
 ノトキデアル。

### 13. (d) 空間ノ特性ツケ

ベクトル束  $=$  對シ, 次ノ条件 (#) ヲ設ケル。

(#)  $\mathcal{E}_i \wedge \mathcal{E}_j = 0$ ,  $(i \neq j)$  ナル  $\{\mathcal{E}_i\}$  ハ  $\mathcal{E} = \bigvee \mathcal{E}_i$  ヲ含

ム。

補題1. 単位  $e \in \sigma$ -完全ベクトル束  $\mathcal{E}$  が恒等的  
ノラシメルヤ、主イデヤル=ヨル方法ヲ、 $\mathcal{Y}$ ノ表現ブー  
ル空間上ノ連続函数族ヲ表現スルトキ、 $\mathcal{Y}$ ノ連続函数族が非  
稠密集合ヲ除イテ有限値ヲトルスベテノ連続函数カラナレタ  
メノ条件ハ条件(井)デアル。従テコノトキベクトル束ハ  $\mathcal{E}$ ノ  
環単位トスル環素ヲ作ル。

(証) 殆ド自明。

(注意) 完全ベクトル束=於テ、(井)ノ代リニ、 $x_\alpha \wedge x_\beta = 0$   
( $\alpha \neq \beta$ ) ナレ  $\{x_\alpha\}$  ト共ニ  $\forall x_\alpha$  ノ含ムトイフ条件ハ完全ベクト  
ル束ノ単位  $e \in \mathcal{E}$ 、 $\mathcal{E}$ ノ恒等的ノラシメル=表現スルトキ、  
表現函数がスベテノ、非稠密集合ヲ除イテ有限値ヲトル連続  
函数カラナルトイフ条件ト同義デアル。

補題2. 完全(或ハ  $\sigma$ -完全) Banach 束が条件(井)ヲ満  
足スルトキハ有限次元デアル。

(証)  $X$ ノ条件(井)ヲ満足スル  $\sigma$ -完全ベクトル束トス  
ル。  $a_i \wedge a_j = 0$ 、( $i \neq j$ ) ナレ  $\{a_i\}$  が存在スルトキハ、  
 $e = \vee a_i$  トオク。

主イデヤル  $\mathcal{O}(e)$ ノ条件(井)ヲ満足スル  $\sigma$ -完全ベクト  
ル束トナレカラ、補題1=ヨリ  $\mathcal{O}(e)$ ノ環素ヲ作ル。故ニ  
 $\mathcal{O}(e)$ ノ各要素ハ  $e = 1$ ニテ有界トナル。コレカラ  $\mathcal{O}(e)$ ガ  
有限次元ナルコトガ容易ニ判ル。従ツテ有限個ノ  $a_i$ ガ  $a_i$   
 $a_i > 0$ トナル。故ニ  $X$ ガ単位ヲモット考ヘテ一般性ヲ失ハナ  
イ。従テ  $X$ ハ有限次元トナル。

定理1. 条件 (#) を満足する Banach 束の有限次元である。

(証)  $X$  を条件 (#) を満足する Banach 束とする。

$a_i \wedge a_j = 0, a_i > 0$  となる  $\{a_i\}$  が存在するときに、任意の素数列  $\{\lambda_i\}$  = 対  $\forall$  假定 =  $\exists$   $\sum \lambda_i a_i \wedge (0)$ -収斂する。かつ  $\forall \epsilon > 0$ ,  $\exists$  全体 = 補題2 を使って  $\{a_i\}$  の有限集合  $T$  となる。故に  $X = \wedge$  単位が存在する。  $X$  が有限次元でないときは、 $a_i \wedge a_j = 0, a_i > 0$  となる可数無限集合  $T$  をとり出せることがこれより容易に判り矛盾が起る。

補題2 或る本定理が  $(S), (b)$ -空間のノルムノ導入によって Banach 空間となること判る。<sup>(1)</sup> 之を定理の形を表はす。

補題3. (#) を満足する  $K_6$  型 "正則"  $F$ -束の単位  $\epsilon$  による  $K_6$  型 "正則" 束である。有限次元でないときは "正則" 性, *improper axiom* を満足しない。またこのベクトル束がノルムノ導入によって Banach 空間となる条件は有限次元となることである。

(証)  $X$  を (#) を満足する  $K_6$  型 "正則"  $F$ -束とする。

$X = \wedge$  単位が存在しないときは、 $e_\alpha \wedge e_\beta = 0$  且つ  $\forall \alpha \neq \beta, e_\alpha = \text{対 } \forall \alpha \wedge e_\alpha = 0$  となる  $x = 0$  となる  $\{e_\alpha\}$  をとり出す。ある正数  $\epsilon = \text{対 } \forall p(e_\alpha) > \epsilon$  を満足する無限個

(1) (#) を満足するベクトル束の "正則" 性, *improper axiom* を満足しない。これを §4 補題2 (p.1343) を使ってこの結論を出してよい。



$e_{\alpha_n}, n=1, 2, \dots$  が存在スル。  $a_n = \sum_{m \geq n} e_{\alpha_m}$  ト置クト  
 $a_n \downarrow 0$  トナルカラ  $\rho(a_n) \downarrow 0$  トナリ矛盾が起ル。故ニ  
 $X$  ハ単位  $e$  有。  $X$  ガ  $K_6$  型 "正則" ニナルコトハ §1,  
 条件 (V) (p. 1338) ヲ満足スルコトヲ示セハヨイ。 (略) 或  
 ハ次ノ様ニシテモイヘル。  $x \in X =$  對シ  $\rho'(x) = \rho\left(\frac{|x|}{e+|x|}\right)$   
 ト置クトキ  $\rho' =$  ヨリ  $X$  ハ  $K_6$  型 "正則"  $F$ -束ニナル。  $\rho$  ト  $\rho'$   
 トハ位相ヲ変ヘナイ。 (§1, 補題 5 参照) コトカラ  $X$  ハ  $K_6$   
 型 "正則" トナル。補題ノ残りノ部分ハ眼カデアラフ。

(2) 空間ハ Bochner 束ヲ (#) ヲ満足スル。逆ニ

定理 2. (#) ヲ満足スル Bochner 束ハ有限次元デアアル  
 カ計量ヲ適當ニトルト (2)-空間ニナル。

(証)  $X$  ヲ (#) ヲ満足スル Bochner 束トスル。補題 3  
 ニヨリ  $X$  ハ単位  $e$  有。  $X$  ハ  $e$  ヲ環単位トスル環束トナル  
 カラ §9ノ所論カラ列空間デアアル。従ツテ計量ノツケカヘテ  
 (2)-空間ニナル。

定理 3. (#) ヲ満足スル  $K_6$  型 "正則"  $F$ -束ハ、ソノ任  
 意ノ正要素  $a > 0 =$  正值ヲ與ヘル正線形汎函数が存在スルト  
 キニハ、有限次元デアアルカ或ハ計量ノツケカヘテ (2)-空間ニ  
 ナル。

(証) §5. 定理 1. (p. 1345) ノ証明法ニヨリ証明ナ  
 レル。

定理 4. 条件 (N) ヲ満足スルベクトル束ガ (#) ヲ満足  
 スルトキ、有限次元カ或ハ計量ヲ適當ニトルト (2)-空間ニ  
 ナル。

(証) 定理3カラ。

§1カラ §12マデ計量ハ実数トシタガ, 計量函数ノ値ヲ  $K_0$  型  
"正則"ベクトル束ノ要素トシテモ以上ノ所論ノ中ガ論ゼラレ  
ル部分ガアル。

尚, §5, 定理1ハ次ノ様ニ書イタ方ガ判リヨカッタ。

(\*)ヲ満足スル  $K_0$  型"正則"F-束ノ 正規イデヤルノ完  
全ブール代数ガ原子的要素ヲ含マナイトキ (孤立要素が存在  
シナイトキ) *non-trivial* + (0)-連続線型汎函数ハ  
存在シナイ。

コノ  $\alpha$ ガ孤立要素トハ主イデヤル  $\alpha(\alpha)$ ガ正規イデ  
ヤルノ完全ブール代数ノ原子的要素ノトキト定義スル。即チ  
任意  $x \in \alpha(\alpha)$ ガ  $x = \lambda \alpha$ ノ形ニカ、レルコトデアアル。